

令和6年度 学校評価

宮崎県立小林秀峰高等学校

重点目標		自己評価	学校関係者評価	評価理由
1 「自ら行動する姿勢」、「深く学ぶ姿勢」の育成を図り、基礎学力の定着と進路保障に努める	①日々の授業や資格取得、学科間連携を推進するなど「自ら行動する姿勢」「深く学ぶ姿勢」の育成を図る	B	A	・総合制専門高校の強みを生かし、学科間の連携を通して生徒間の自立的な意見交換が行われている。 ・進学、就職等々バランスがとれ、特色が出ている。 ・早期から進路の情報を生徒に提供する場を設けている。 ・進路決定率が高く、充実した進路指導がされている。
	②多様な進路希望に丁寧に対応し、生徒、保護者の希望が叶うような早期からの指導体制の充実を図る	A		
2 充実した高校生活を送れるよう、一人ひとりを大切にしたい日常指導の徹底に努める	①基本的な生活習慣の確立に取り組み、学業と部活動の両立を推進する	B	A	・本年度も部活動等子供たちの活躍には感動させていただいた。 ・学業と部活動の両立は家庭と学校の連携が必要だと思う。 ・支援する体制（生徒支援部、キャリア支援部）が充実している。 ・いつも気持ちよい元気に挨拶をしてくれる。
	②教育相談体制の充実を図る（いじめ・不登校対策委員会、特別支援対策委員会含む）	A		
3 組織力の強化と教育・職場環境の整備と充実に努める	①生徒が安心して学べる教育環境の整備、危機管理体制の確立と防災意識の醸成に努める	A	B	・生徒個々の状況に応じ組織連携した相談体制が整っており、安心した学校生活の環境整備が行われている。 ・職員の心身の健康が生徒の充実した学びに繋がっていくものと思う。先生方が力を発揮しやすい職場環境作りや他校含めてになるが、先生を志す方々が更に増えていくような施策・対策が図られるとよい。 ・ICT端末の活用や適正な業務分担を図り、教職員の負担軽減に取り組まれてほしい。
	②縦・横の連携強化による組織体制の充実とともに、職員の心身の健康に配慮した働きやすい環境づくりに努める	B		
4 地域との連携を推進し、地域に活力を与え、信頼される学校づくりに努める	①、保護者や地域とした連携した教育活動等をとおして、学校魅力化推進に努める	B	A	・総合制専門高校として子供たちの様々な学びの要求や部活動の対応等尽力いただいていることが伝わる。 ・地域貢献を通じて社会とのつながりが深められ、PR効果にも発揮されている。 ・小林秀峰高校が持つ多くの魅力・充実の活動の様子などをもっともっと発信してほしい。
	②地域行事への参加や地域活性化の取組への協力など、地域に開かれた学校づくりに努め、積極的に地域貢献を発信する	A		

- 1 学校関係者評価欄に、3段階評価（A 目標を十分に達成できた。B 目標に向けて取り組んだ。C 目標を達成できなかった。）を記入してください。
- 2 その評価(ABC)となった理由を評価理由欄に簡潔に記入してください。